

■7月11日、ミラノ万博において「ジャパンデー」を開催！

7月11日、日本のナショナルデーである「ジャパンデー」がいよいよ開催されました。

ジャパンデーは日伊代表団が参列した公式式典とともに幕を開けました。日伊両国の国歌斉唱と国旗掲揚に続き、マウリツィオ・マルティーナ農林政策大臣より「ミラノ万博開催にあたっては、日伊両国の協力によって困難を乗り越えることができました。この機会に日本の食文化や農業、農産物などにおける素晴らしい歴史を世界に伝えることは意義深い。ミラノ万博の成功は日本のおかげであるとお礼を申し上げたい」とご挨拶をいただきました。

日本代表団からは、林芳正 農林水産大臣が日本館のテーマである「Harmonious Diversity-共存する多様性-」の考え方について発表するとともに、「多くの方々に日本館を訪問していただくことで、日本の食がさらに世界に広まっていくことを願う。日本の食や農に関心を持っていた方々には、日本をぜひ訪れて本場の味を堪能してもらいたい」とご挨拶。続いて、山際大志郎 経済産業副大臣が「日本館では、和食器などの伝統工芸品も含め、日本の魅力をクールジャパンとして紹介している。クールジャパンを見て感じていただくとともに、日本への関心をより高めていただく機会になれば良い。またミドリムシの大量培養技術をはじめ、食料不足課題に貢献する技術も見ていただきたい」と述べました。



会場風景



日本代表団



マウリツィオ・マルティーナ農林政策大臣



林芳正 農林水産大臣



山際大志郎 経済産業副大臣

■東北の10祭りが大通りを行進！「東北復興祭りパレードin ミラノ万博」

「東北復興祭りパレード」は、東日本大震災における世界各国からの支援に対する感謝の気持ちを表すとともに、東北の元気な姿を発信することを目的に開催されました。東北の10祭り（県都6祭りと福島地域の4祭り）に400人以上が参加し、会場大通りを400メートル以上に渡り行進しました。パレードには日本館特別大使でもあるハローキティのほか、ドラえもんなど日本を代表する“クールジャパン”コンテンツの人気キャラクターたちも参加。福島地域の4祭り（二本松「木幡の幡祭」、いわき「じゃんがら念仏踊り」、郡山「うねめまつり」、会津「彼岸獅子舞」）のほか、盛岡「さんさ踊り」、仙台「すずめ踊り（七夕祭り）」、山形「花笠まつり」が披露されました。さらに、巨大なわらじが登場した福島「わらじまつり」、ジャパンデーのため特別に制作された幅6メートルのねぶたと太鼓が大迫力の青森「ねぶた祭り」が大通りを賑やかに行進しました。万博会場中央のイタリア広場では、高さ12メートルの竿燈（秋田「竿燈まつり」）4竿が登場し、会場を埋め尽くした多数の来場者からは勇壮な景色に感嘆する声が聞かれました。



盛岡さんさ踊り



福島わらじまつり



秋田竿燈まつり



山形花笠まつり



青森ねぶた祭



出発式風景

■ 満席大盛況、立ち見も出た大人気プログラム 文化公演「JAPAN DAY スペシャルライブ2015」

日本を代表する古典・伝統芸能とポップカルチャーを披露した文化公演「JAPAN DAYスペシャルライブ2015」は立ち見が出るほどの観客が来場し、大盛況に終わりました。「愛・地球博」（2005年）マスコットキャラクターのモリゾーとキッコロも応援に駆けつけ、舞台を盛り上げました。

吉田兄弟「風翔音（フュージョン）」

文化公演のオープニングを飾ったのは津軽三味線奏者・吉田兄弟による「風翔音（フュージョン）」。迫力ある演奏が観客を魅了しました。

紫舟、打打打団（だだだん）「書と和太鼓のコラボレーション」

書家の紫舟さんと和太鼓グループの打打打団による「書と和太鼓のコラボレーション」。紫舟さんによる書のライブパフォーマンスが行われ、「おいしいものをほうばる」という意味が込められた紫舟さんの造語である「口へんに豊」という力強い字が完成しました。打打打団はこの演目のための特別コラボレーション曲「序破急（じょはきゅう）」を披露しました。



日本最高位の能舞台「高砂」、宝生流第二十世宗家 宝生和英（ほうしょうかずふさ）氏が披露

シテヤワキ、お囃子（笛、小鼓、大鼓、太鼓）や3名の地謡が登場。「今回の演目を通して、“過去-現在”、“日本-イタリア”の懸け橋になることができれば」という思いで演じた宝生和英さんによる、ジャパンデーのために見どころを厳選した舞台が披露されました。



イタリア初公演！ きゃりーぱみゅぱみゅ「KAWAII カルチャーLIVE」

フィナーレを飾ったのは、日本発「KAWAIIカルチャー」を代表するきゃりーぱみゅぱみゅのスペシャルライブ。イタリア初となった本公演では、日本はもちろんのこと、ヨーロッパ各国でも人気の高い「きゃりーのマーチ」「PON PON PON」「にんじゃりばんばん」「つけまつける」の4曲が披露され、斬新な衣装や独特の歌や振り付けに会場は大いに盛り上がりました。



■国内外VIPに日本の“食”を披露 「ジャパンデーレセプション」

日本館第二の拠点「ジャパンサローネ」開催場所でもあるミラノ市内のステッリーネ宮殿に会場を移し、レセプションを開催しました。「日本の宴」をコンセプトに、来場した国内外のVIP、オピニオンリーダー等に日本の「食」を体験していただきました。

山際大志郎 経済産業副大臣および林芳正 農林水産大臣のご挨拶に続き、鈴木馨祐 国土交通大臣政務官の音頭により、来賓および協賛企業関係者等、総勢24名による鏡開きが行われました。安倍昭恵 内閣総理大臣夫人による乾杯ご発声の後、来賓のブルーノ・パスクイーノ ミラノ国際博覧会政府代表にご挨拶をいただきました。日本食学会の料理人である菊乃井やたん熊、京都吉兆などのシェフが特別に用意した本格和食をはじめ、日本産食材を使用した特製のイタリアン、寿司屋台、蕎麦屋台、天ぷら屋台、ラーメン屋台、JA屋台（郷土料理）と日本酒、お茶などがガーデンに並び、来場された方々にバラエティ豊かな日本食を楽しんでいただきました。

□ジャパンデーに関するプレスリリースは次のURLよりご覧いただけます。<http://expo2015.jp/news/index.html#press_150713>



鏡開き



会場風景



林芳正 農林水産大臣



料理コーナー



料理コーナー



安倍昭恵 内閣総理大臣夫人



日本館サポーターの服部幸應氏と村田吉弘氏